

# 安全データシート

文書 ID: SD-SLD180319J

作成日: 2009 年 10 月 23 日

改訂日: 2018 年 03 月 19 日

## 1. 製品及び会社情報

製品名:	抗 CML 抗体
製品コード:	SCM-020D / SCM-100D
会社名(輸入発売元):	日研ザイル株式会社
住所:	静岡県袋井市春岡 710-1
担当部門:	日本老化制御研究所 キット試薬課
電話番号:	0538-49-0125
FAX 番号:	0538-49-1267
会社名(製造元):	Immundiagnostik AG Stubenwald-Allee 8a, D-64625 Bensheim, Germany

## 2. 危険有害性の要約

成分(危険有害性物質):	アジ化ナトリウム(0.1%未満)
GHS分類	
物理化学的危険性	物理化学的危険性に関する情報なし
健康に対する有害性:	有害性に関する情報なし
環境に対する有害性:	有害性に関する情報なし
GHSラベル要素	なし
危険有害性情報:	有害性についての情報なし
注意書き:	予防策
	すべての安全注意および使用説明書を読み理解するまで取り扱わないこと。 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。 この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。 換気のよい区域でのみ使用すること。 眼、皮膚または衣類に付けないこと。 粉塵、ヒューム、ミスト、蒸気、ガスを吸入しないこと。 取扱後はよく眼や手を洗うこと。 妊娠中、授乳期中は接触を避けること。 容器を密閉しておくこと。 環境への放出を避けること。
救急対応	<u>吸入した場合:</u> 新鮮な空気のある場所に移し、呼吸困難又は呼吸が停止しているときは、速やかに人工呼吸を行う。速やかに医師の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合：

汚染した衣服、靴等を脱ぎ、多量の水および石けん水で洗い流す。速やかに医師の手当てを受ける。

目に入った場合：

ただちに流水により 15 分以上洗浄する。洗浄した水が被災していない側の目に入ったり、顔面に触れないよう注意する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。速やかに医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合：

水で口をすすぐ。多量の水を飲ませる。無理に吐かせない。速やかに医師の診断を受ける。

貯蔵

冷暗所にて保管すること。

火気や熱源などの着火源から遠ざけること。

食品や飼料から離して保管する。

廃棄

内容物や容器を廃棄する場合には、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

---

### 3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別：	混合物
化学名(危険有害物質)：	アジ化ナトリウム(0.1%未満)
化学式：	$\text{NaN}_3$
分子量：	65.01
官報公示整理番号：	(1)-482
CAS No.	26628-22-8

---

### 4. 応急措置

吸入した場合：	被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移し、衣服、ネクタイ、ベルトなどをゆるめ、毛布などで保温して安静にする。呼吸困難が停止している場合は、人工呼吸を行う。心臓が停止した場合は心臓マッサージを行う。速やかに医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合：	出来るだけ速く被災者を洗浄の行える場所に移し、汚染された着衣や靴等を取り除く。適温のゆるやかな流水により、15 分以上洗浄する。必要に応じて石鹼などを用いて十分に洗い落とす。速やかに医師の診察を受ける。
目に入った場合：	出来るだけ速く被災者を洗眼の行える場所に移す。眼瞼を指で開きながら、適温のゆるやかな流水により 15 分以上洗浄する。洗浄した水が被災していない側の目に入ったり、顔面に触れないよう注意する。速やかに医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合：	水で口をすすぐ。速やかに医師の診断を受ける。多量の水を飲ませる。無理に吐かせない。

---

## 5. 火災時の措置

消火剤:	粉末消火薬剤、二酸化炭素、耐アルコール性泡、水噴霧。
使ってはならない消火剤:	情報なし。
特定の危険有害性:	火災時に刺激性もしくは有毒なフュームやガスを放出する。
特定の消火方法:	火災を増大させる危険性があるものを周囲から速やかに取り除く。関係者以外は安全な場所に退去させる。消火活動は風上から行い、周囲の状況に応じた適切な消火方法を用いる。
(周辺火災の場合)	周辺火災の場合は、速やかに移動可能な容器を安全な場所に移動する。移動不可能な場合は容器及び周囲の施設などに散水して冷却する。
消火を行う者の保護:	消火作業の際には必ず呼吸用保護具(給気式呼吸用保護具など)を用い、できるだけ風上から行い、蒸気、燃焼ガスの吸入を避ける。

---

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項:	漏出場所の周辺にロープを張る等して関係者以外の立ち入りを禁止する。処理に際しては、自給式呼吸器付化学保護衣を用いる。
環境に対する注意事項:	付着物、回収物などは、関係法規に基づき速やかに処分する。河川等へ排出されて、環境への影響を与えることのないよう注意する。
回収、中和:	付近の着火源、高温体などを速やかに取り除く。衝撃、静電気にて火花が発生しないような装置、材質の用具を用いる。着火した場合に備えて、適切な消火器を準備しておく。少量の場合は、土砂等に吸着させ、密閉できる空容器に回収する。大量の場合は、土砂等で流れを止め回収する。
二次災害の防止策:	付近の着火源となるものを速やかに取り除くとともに換気を行い、消火器材を準備する。

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い: 技術的対策	吸入、眼、皮膚および衣服に接触を避けるために、適切な保護具を着用し、出来るだけ風上から作業する。静電気対策を行い、作業衣、作業靴は導電性のものを用いる。取扱い作業場の電気設備は防爆構造とする。容器を転倒、落下させ、衝撃を加え、あるいは引きずるような行為をしない。
注意事項	発散源を密封し又は局所排気装置を設置する。接触・吸入の恐れがあるときは保護具を着用する。作業中は飲食、喫煙をしない。
安全取扱い注意事項	高温物、スパーク、火気を避け、酸化性物質との接触を避ける。適切な保護具を着用し、吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないようにする。取扱い後は、手、顔などを良く洗う。
保管: 適切な保管条件	密栓した後、乾燥した冷暗所(2~10℃)に保管する。火気や熱源などの着火源から遠ざける。

技術的対策	食品や飼料、可燃物から離して保管する。
混接禁止物質	情報なし。
安全な容器包装材料	ガラス、ポリエチレン等。

## 8. 暴露防止及び保護措置

設備対策： 作業者が直接暴露されないように、できるだけ密閉化した設備又は局所排気装置を設ける。取扱い場所の近くに洗眼及び身体洗浄用の設備を設ける。

本製品に含まれる成分のうち、アジ化ナトリウムについて、以下の情報が報告されている。

管理濃度：	設定されていない。	
許容濃度：	日本産業衛生学会(2005年版)	設定されていない
	ACGIH(2005年版)TLV-C	0.29 mg/m <sup>3</sup>

保護具：	呼吸器用の保護具	防毒マスク、空気呼吸器、送気式マスク等。
	手の保護具	耐油性(不浸透性)、保護手袋。
	目の保護具	保護眼鏡(ゴーグル型)。顔面シールド。
	皮膚及び身体の保護具	保護衣。不浸透性保護前掛け、長靴等。
適切な衛生対策：	作業中は飲食または喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。	

## 9. 物理的及び化学的性質

形状：	凍結乾燥粉末	
色：	情報なし	
臭い：	情報なし	
pH：	情報なし	
沸点、初留点と沸騰範囲	情報なし	
融点	情報なし	
引火点	情報なし	
発火点	情報なし	
燃焼または爆発範囲の上限、下限	情報なし	
蒸気圧	情報なし	
蒸気密度	情報なし	
比重	情報なし	
溶解度	溶媒に対する溶解性	情報なし
オクタノール/水分配係数	情報なし	
分解温度	情報なし	

## 10. 安定性及び反応性

本製品に含まれる成分のうち、アジ化ナトリウム(原体)について、以下の情報が報告されている。

安定性 加熱により融解して300°Cで分解する。徐々に加熱すれば、窒素を発生

危険有害反応可能性	生しながら、純粋な金属ナトリウム(禁水)を生じる。 乾燥すると熱、火災、摩擦又は衝撃により爆発するおそれがある。銅、鉛、水銀、二硫化炭素と反応し、特に衝撃に敏感な化合物を生成する。水溶液は弱塩基である。アルミニウムに対して強い腐食性を示す。
避けるべき条件	重金属との混触により、発熱、発火することがある。酸によって有毒かつ爆発性のアジ化水素酸を発生する。
混触危険物質	鉛、真鍮、銅、銀と接触すると火災と爆発の危険性がある。
危険有害な分解生成物	燃焼により水酸化ナトリウムのヒュームを発生する。

## 11. 有害性情報

本製品に含まれる成分のうち、アジ化ナトリウムについて、以下の情報が報告されている。

急性毒性:	経口 ラット LD <sub>50</sub>	45 mg/kg
	経口 マウス LD <sub>50</sub>	27-45 mg/kg
	経皮 ウサギ LD <sub>50</sub>	20 mg/kg
	吸入(蒸気) ラット LC <sub>50</sub>	37 mg/m <sup>3</sup>
皮膚腐食性・刺激性:	ウサギ 0.5g	1 時間では刺激を起こさなかったが、4 時間で腐食性。6 匹中 3 匹が死亡。
眼に対する重篤な損傷・刺激性:	皮膚腐食性・刺激性評価結果から重篤な眼の損傷が想定される。	
呼吸器感受性または皮膚感受性:	情報なし	
生殖細胞変異原性:	情報なし	
発がん性:	ACGIH(2005 年):A4 ヒトに対して発がん性物質として分類できない物質	
生殖毒性:	情報なし	
特定標的臓器・全身毒性・単回暴露:	ヒトについて、血圧低下(かつては治療薬として使用された)と、その呼吸器・消化器等への副作用と見られる事例があることが知られている。	
特定標的臓器・全身毒性・反復暴露:	ヒトで高血圧の治療に長期使用した際、一部の患者に感受性の増大が見られたこと、動物実験で 10 mg/kg・day 以下の投与量で肝臓への影響が見られる。	
吸引性呼吸器有害性:	情報なし	

## 12. 環境影響情報

本製品に含まれる成分のうち、アジ化ナトリウムについて、以下の情報が報告されている。

生体毒性:	魚毒性	96 時間 LC <sub>50</sub>	0.7 mg/L
残留性・分解性:	情報なし。		
生体蓄積性:	情報なし。		
土壌中の移動性:	情報なし。		

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物:	アフターバーナーおよびスクラバー等の設備を備えた焼却炉で少量ずつ完全に焼却する。処理施設がないなどの理由で廃棄できない場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。
--------	--

汚染容器及び包装： 空容器を処分する時は、内容物を完全に除去した後に行う。

---

#### 14. 輸送上の注意

国連番号： なし

国連分類： なし

運搬に際しては容器に漏れがないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷くずれの防止を確実に行う。

海洋汚染物質： 該当なし

---

#### 15. 適用法令

本製品に含まれる成分のうち、アジ化ナトリウムについて記載する

労働安全衛生法： 該当なし(施行令第18条の2 通知対象物 施行令別表第9)

毒物及び劇物取締法： 該当なし(指定令 第1条。含有量 0.1%以下のため除外)

PRTR 法： 該当なし

---

#### 16. その他の情報

本データシートの記載内容については、現時点で入手できる資料等に基づいて作成したものです。全ての情報を網羅しているものではありません。記載されている値は安全な取扱いを確保するための参考情報であり、いかなる保証をなすものではありません。取扱いの際には十分注意してください。また、新たな情報を入手した場合に、記載内容が追加または訂正される場合があります。